

平成 29 年 3 月 16 日

連携重点研究運営委員会の活動状況
(平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)

連携重点研究運営委員会（日本原子力研究開発機構、量子科学技術研究開発機構、東京大学大学院工学系研究科原子力専攻が共同で設置）の平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月における活動状況を以下に示す。

1. 連携重点研究平成 28 年度開始研究課題の公募・採択

平成 28 年度開始研究課題の公募を行い、新たに 2 件の応募があった。また、11 件の課題が継続して活動をしている。

2. 連携委重点研究運営委員会の開催

平成 28 年 8 月 18 日（木）、第 13 回連携重点研究運営委員会を連携重点研究討論会開催に合わせて、東京本郷キャンパスで開催した。新規応募 2 件の課題について審議を行い、うち課題番号 H28-2 をメール審議のうえ、承認し採択した。なお、平成 28 年度運営委員の構成を別添に示す。

3. 第 11 回先進原子力科学技術に関する連携重点研究討論会の開催

平成 28 年 8 月 17 日（水）、18 日（木）の両日、東京大学本郷キャンパス工学部 212 号室にて、第 11 回連携重点研究討論会が開催された。特別講演では「遠隔操作型ロボットを支える機械要素部品」と題して THK 株式会社の遠藤様より、「宇宙線ミューオンを用いた地下の地質構造探査の試み」と題して原子力機構の笹尾様と川崎地質株式会社の鈴木様より講演頂いた。全体会議の基調講演として「リスクマネジメントと社会」と題して特定非営利活動法人パブリック・アウトリーチの木村様より講演頂いた。また、フォーラムの特設会場では、連携重点研究の若手研究者や JAEA・QST の大型研究施設を用いた一般共同研究、更には東大原子力専攻の弥生研究会の研究成果の報告会としてポスターセッションが行われた。討論会のプログラムを別添に示す。本討論会では、運営委員による各課題について評価を行ったので、評価内容と総評を別添に示す。両日で 147 名の参加者を迎え入れ、本会は有意義かつ盛況のうちに閉会された。